

「おもしろ科学館2011 inほろのべ」を開催します！

北海道経済産業局では、9月3日、4日に幌延町で「おもしろ科学館2011 inほろのべ」を開催いたします。

次世代を担う子どもたちにエネルギー問題・科学技術等を身近なものとして知識を深めてもらうため、「科学の不思議とおもしろさ」を楽しく体験する機会と、幌延地層研究センターのPRを通じて、エネルギー問題を考えるきっかけづくりを行います。今年は、「サイエンス・ドリーム・トラベラー（暮らしの中のエネルギーを探る旅）」と題して、身近にあるエネルギーの世界をテーマとした展示、実験、体験コンテンツがラインナップいたします。お子様とともにエネルギーを考えてみませんか。

日時：平成23年9月3日（土）4日（日）
9：30～16：00

場所：幌延町総合体育館・ゆめ地創館

詳細はこちらから

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpk/11omosiro/index.htm>



〈担当：電力事業課〉

平成23年度「北国の省エネ・新エネ大賞」募集中！ ～エネルギー開発・利用・普及優良事業者等北海道経済産業局長表彰～

北海道経済産業局では、平成23年度「北国の省エネ・新エネ大賞」の募集を10月5日（水）まで行っています。

北海道においてエネルギーに関する開発・有効利用及び普及に著しい成果及び功績があり、他の模範となる組織、個人を表彰することによって、省エネルギーの導入及びエネルギーの高度利用を加速し、低炭素社会の実現に寄与することを目的として実施するものです。

自薦・他薦を問いませんので、積極的な応募をお待ちしております。

【募集部門】

- (1) 開発・製造部門（対象：組織）
省エネルギー又は新エネルギーに関する技術・製品等の開発・製造
- (2) 有効利用部門（対象：組織）
省エネルギーの取組又は新エネルギーの活用によるエネルギーの有効利用
- (3) 普及拡大部門（対象：組織）
省エネルギー又は新エネルギーに関する技術・製品等の普及拡大
- (4) 啓発普及部門（対象：組織及び個人）
省エネルギー・新エネルギーの普及啓発活動

【応募方法】

所定の用紙に必要事項を記入し、下記提出先まで郵送又は持参してください。

【提出・問い合わせ先】

北海道経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課 TEL011-709-2311

【締切】平成23年10月5日（水）

（内線2636）

□応募要領など詳細はこちらから

http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/kitaguni_award3/index.htm

（参考）平成22年度「北国の省エネ・新エネ大賞」受賞者

【有効利用部門】

- ・北竜町（サンフラワーパーク北竜温泉排湯熱利用ヒートポンプ導入事業）
- ・(社)北海道馬鈴しょ生産安定基金協会及び無臭元工業(株)（馬鈴薯澱粉製造排水処理における微生物製剤を用いた循環処理の適用による電力削減）
- ・(株)アミノアップ化学（寒冷地の特性を活かした環境負荷低減対策の実施と従業員の運用改善で、CO2 50%削減）
- ・帯広信用金庫（金融機関新店舗における寒冷地に適した地中熱ヒートポンプ等のシステムを導入）
- 【啓発普及部門】
- ・芽室町（地域資源を活用した省エネ・新エネの推進～おいしい芽室を残さず食べよう）



〈担当：エネルギー対策課〉

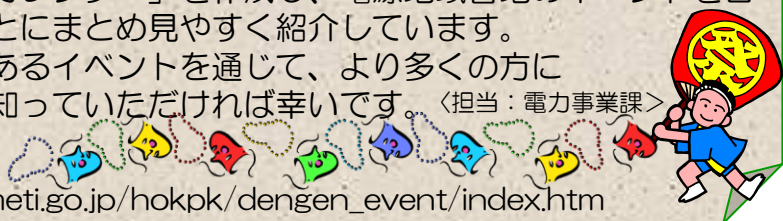
電源地域のイベントを紹介しています。

北海道経済産業局ホームページ内の「電源地域振興」のページに「電源地域等イベントカレンダー」を作成し、電源地域各地のイベントを日時・概要など月ごとにまとめ見やすく紹介しています。

電源地域の魅力あるイベントを通じて、より多くの方に電源地域について知っていただければ幸いです。〈担当：電力事業課〉

詳細はこちらから

http://www.hkd.meti.go.jp/hokpk/dengen_event/index.htm



北海道での環境やエネルギーの取り組みや国等の施策を活用した事業の活動状況とその後などをご紹介します。

工場の照明の効率化でコスト削減と作業環境向上を両立 <株式会社IHIスター(千歳市)>

活用補助制度：平成22年度エネルギー使用合理化事業者支援事業「製造工場における高効率照明機器導入による省エネルギー事業」

～省エネ導入ストーリー～

(課題) 同社の昭和53年築の工場は、設備の老朽化による照度低下で作業環境が悪化。照明照度の向上による作業環境の改善が課題。

(検討) 生産技術保全担当で高効率・省エネタイプの照明機器への転換を検討。

(結論!) 平成21年度に更新する設備の仕様について具体策の検討を始めたところ、省エネ設備の更新に対する補助事業があることを知り、平成22年度の事業計画に盛り込む。補助事業の採択を受け、作業環境の向上に最適な機種を選定し設備導入を実施。

～導入設備概要～

従来の水銀灯(400W)から高効率のセラミックメタルハライドランプ(230W-397基)に更新することで、消費電力量を削減。また、照度を高めるための高輝度反射板(セード)を設置し、反射率を1割向上。さらに、従来設置していた照明の安定器を交換。



▲セラミックメタルハライド照明 (工場2階)

～ここもポイント!～

1日あたりの暖房コストや1時間あたりの照明コストを場内に掲示することで、社員のコストや省エネに対する意識が向上。

～省エネ効果～

エネルギー使用量(消費電力量)を約75kWh削減(導入前比: 33.8%削減)

(※12月~4月の比較)

<担当: エネルギー対策課>

募集期間	制度名/内容	対象者/補助率
4/12 ~ 12/22	◆住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金 【概要】住宅に太陽光発電を設置する個人又は法人に対し、導入費用の一部を補助する 実施機関: 一般社団法人太陽光発電協会 太陽光発電普及拡大センター http://www.j-pec.or.jp/news/t11041101.html	個人又は法人 対象システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力1kW当たり48,000円



3人寄れば文殊の知恵! ～省エネ連携活動(省エネ町内会モデル) 取組実績について～

北海道経済産業局では、平成20年度から、複数の事業者がグループを形成し、課題・アイデア・情報・ノウハウを共有しながら、大型の設備投資ではなく既存設備の運用改善活動などを中心に省エネ対策をすすめる「省エネ連携活動(省エネ町内会モデル)」を展開してきましたが、このたび本活動の実績とポイントをまとめましたので、お知らせします。当局としては、今後とも、意欲ある事業者等のグループが連携して省エネに取り組む活動を支援してまいります。



詳細はこちらから

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20110721/index.htm>

<担当: エネルギー対策課>